



## 市民緑地のお知らせ 【成城三丁目こもれびの庭市民緑地 「3本のヒマラヤスギ」の1本をお別れ茶話会を経て伐採しました】

長らく成城のまちで愛されてきた成城三丁目こもれびの庭市民緑地「3本のヒマラヤスギ」は、植えられて約 100 年の間に成城の町と共に大きく成長、お互いの枝が重なるほど間隔が狭まってしまい、日照や土中の酸素を奪い合うなどの原因で、中央の樹勢の弱りが懸念されていました。緑地を管理する一般財団法人世田谷トラストまちづくりでは、平成 19 年から樹木医の診断や対策を行い、樹勢の回復を図ってきましたが、残念ながら改善の兆しがなく、まちのみどりを守る観点から両側 2 本への将来的な影響を鑑み、国分寺崖線のみどりを守る当財団として大変つらい決断ではありましたが、去る令和 7 年 1 月 15 日(水)に中央の 1 本を伐採しました。〔写真 1.2〕

〔写真 1〕作業前



〔写真 2〕作業後



伐採に先立ち、令和 6 年 11 月 23 日(土・祝)、市民緑地にお集まりいただいた「ヒマラヤスギお別れ茶話会」では、成城のみどりに詳しいゲストにご登壇いただき、ヒマラヤスギの思い出や大切に残したいみどりについて、40名ほどお集まりいただいた地域の皆様と語り合いました。

〔写真 3.4〕

〔写真 3〕お別れ茶話会での語り合い



〔写真 4〕会場に設けられた写真展示

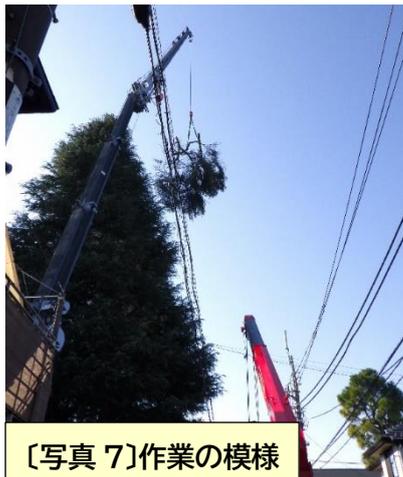




伐採当日は天候にも恵まれ伐採開始の前には、これまで成城のシンボルとして見守ってこられた感謝の気持ちを込めて、地域の皆様と一緒にお清めを行いました。〔写真 5〕これに続いての作業は安全第一とし、空師(そらし)と呼ばれる職人がロープを巧みにさばきながらあっという間に天辺へ登り、〔写真 6〕クレーンオペレーターとの匠の技の連続により、日没前に全ての作業を無事に終了することが出来ました。〔写真 7〕



〔写真 5〕お清め



〔写真 7〕作業の様



〔写真 6〕作業の様

現地には想いを伝える形で切り株を残し、切り出された材の一部は次大夫堀民家園ボランティア「木挽きの会」にて新たなカタチで活かされます。〔写真 8〕

また、成城の文化・風土を次の世代に残す取り組みの一環として、成城のまちづくりと深い関わりのある成城学園の教育研究所へ年輪が分かる材を提供致しました。

今後は 2 本のヒマラヤスギの維持管理に努めると共に、記憶を引き継ぐサイン板を現地に設置する予定です。

〔写真 8〕「木挽きの会」へ材の一部を提供



【問い合わせ】

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

トラストみどり課 市民緑地担当

TEL: 03-6379-1620 | 受付時間: 平日 8:30~17:00

ホームページ | <https://www.setagayatm.or.jp/>